

■手軽に自分の走ったルートを地図上に表示させる方法

大会運営サイドが高機能のLiveloxで地図・コースを公開していない場合、QuickRouteを使うのが良さそうです。
地図（下絵）とGPSデータを用意し、それを重ねて表示する、という流れになります。

両者のズレを無くすのに少々コツがいりますが慣れればそれほど大変ではありません

動画が参考になると思います。英語だけど。まあ何とかなる…

↓

How To Overlay Your GPS Route on a Map - YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=lb78o3h5eD8>

7分弱の動画。キモになる地図とルートの重ね合わせは3分10秒あたりから。

QuickRouteのサイト

<https://www.matstroeng.se/quickroute/en/index.php>

ここからダウンロードできます

<https://quickroute.software.informer.com/>

こちらからもダウンロード可



QuickRoute_2.4_Setup.msi 2 508 KB, 2011-12-27

※かなり古いソフトウェアですが、日本語のWindows10/11で問題なく動きます

(ご参考) QuickRouteのインストール

<http://gesxkipp.livedoor.blog/archives/5376770.html>



インストールが終わったらデスクトップにショートカットを作成しておくと便利です。

●下絵（地図）の用意

画像ファイルだけです。jpg, tif, pngなど。PDFは不可

スキャナで読み込んで、形式を選択して保存。解像度はお好みで。

不要エリアはあらかじめ切り取り（クロップ）して必要な範囲だけにしておきましょう。

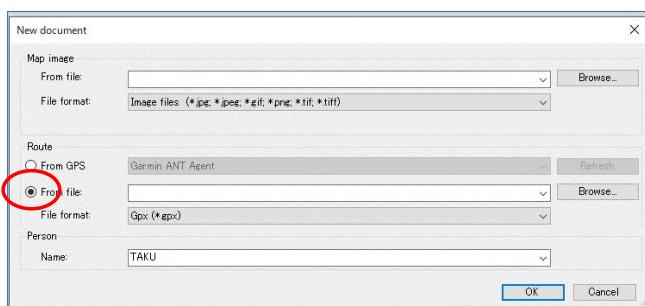
●GPSデータの用意

gpxファイル用意します。

●起動後の画面



新規ファイルを作成します。白紙をクリック。



下絵のファイルを指定

GPXデータのファイルを指定

GARMINからは直接データを読み込めるっぽいですが、うまくいかなかったので
ファイル名を指定して読み込みます。

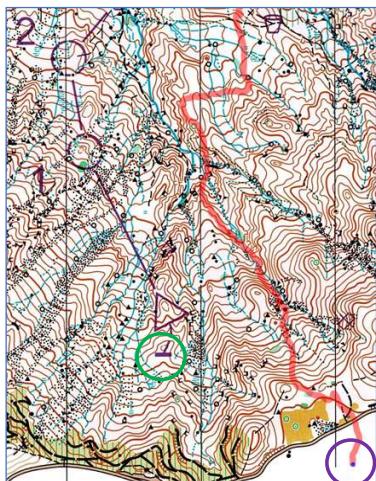
- 地図と、ルートが表示されます。



とりあえず、名前を付けて保存しましょう。

マイナスの虫眼鏡を選択（クリック）してから、メインウインドウに表示されている地図をクリックすると
地図が縮小され全体を表示させることができます

- この段階では、ルートが正しい位置にセットされていないので、下絵とルートを正しい位置に合わせます。



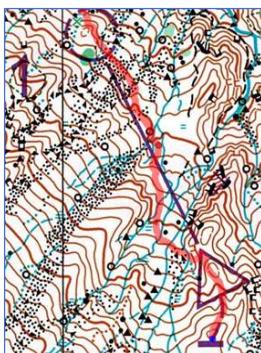
初期値だとルートが見にくいかもしれないので、その場合は
軌跡の太さ（幅）を3.0から10くらいに増やすと概略をつかみやすい

この例では
起点がスタート位置よりかなり右下に表示されている

起点（紫の○）を実際のスタート位置（緑の○）にズラす
必要がある。



左から2番目のカーソル（矢印）ボタンをクリックしてから
ルートの起点をマウスの左ボタンでクリック、そのままボタンを押したまま緑○の位置まで移動（ドラッグ）



ルートの起点が正しい位置になった

これでもまだ全体としては全然合わないと思います。（サイズ感が違う感じ…）
同様に、ルートの終点を選択し、フィニッシュ地点までつまんで移動します。
これでだいぶ良い感じで重ねられたのではないでしょうか？（地図が正確ならかなり良くマッチします）
ここでいってん上書き保存しておきましょう。

あとは必要であれば確実な地点（コントロールや交差点など）を何か所かつまんでずらせば
完了です。

意図しない結果になった場合は、操作取り消し **ctrl+z** で1作業前に戻れます。



重ね合わせが終了したら左端のカーソルをクリックすると、位置合わせモードから抜けるので、
軌跡幅などを好みに調整します。
上書き保存します。

- 完成

File → Export → Images → ファイル形式を指定して保存

これで画像ファイルを保存できます。

またはWindowsのツール Snipping Tool を使って 画像の必要部分を切り取り（コピーして）画像ファイルとして保存します。